

## 総合評価結果報告書

施設の名称	城東子育て支援センター		
課 名	子ども未来課		
指定管理者名	特定非営利活動法人 なのはな		
指定期間	平成30年4月1日 ～令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年6月7日（火）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 阿部 薫夫（子ども未来課長） ②委 員 原田 康弘（生活安心安全課長） ③ “ 繁竹 三千代（青少年育成課長） ④ “ 京井 麻由（静岡市子育て支援団体連絡会副会長） ⑤ “ 湯浅 穂乃（静岡市子育て支援団体連絡会副会長）		
評価点 （各委員平均点）	93.2点	評価	Ⓐ・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>全体的に概ね良好な施設運営がなされている。特に臨床発達心理士等の心理職を配置していることについて、他の子育て支援センターにはない独自の配置により相談業務を充実させており高く評価できる</p> <p>利用者アンケートによる満足度については、非常に高い評価を得ている。また、アンケート内での利用者からの意見や要望に対しても真摯に答えており、利用者目線での施設運営ができていている点についても評価できる。</p> <p>一方で事業内容等の情報発信については、毎月の情報紙やホームページを通じて行っているものの、現代の子育て世代に合わせSNS等を活用した情報発信も求められ、今後工夫して取り組む必要があると考える。</p> <p>コロナ禍においても、利用者に安心して施設を利用してもらえるように、感染対策を徹底して事業を実施していた。</p> <p>今後においても、隣接する城東保健福祉センターをはじめ、地域の子育て支援施設等との連携をとりながら、利用者に寄り添った施設運営を期待する。</p>		

## 総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [ 城東子育て支援センター ] 課名 [ 子ども未来課 ]  
 指定管理者名 [ 特定非営利活動法人 なのはな ]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認						【配点50点】
(ア) 事業計画書等に基づいた事業が適切に実施されている。 (20点)	20	20	16	20	20	19.2
(イ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置されている。 (10点)	10	10	9	8	10	9.4
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施されてい る。(10点)	10	10	8	10	10	9.6
(エ) 当初予算に基づいた適切な予算執行が行われている。(10点)	8	10	8	8	10	8.8
小 計	48	50	41	46	50	47
2 指定管理者の創意工夫						【配点15点】
(ア) 指定管理者からの提案による指定管理者の持つノウハウや ネットワークなどを活かした事業が実施されている。(10点)	10	10	10	10	10	10
(イ) 施設利用(事業・イベントへの参加を含む)を促進するた めの方策が実施されている。(5点)	4	5	4	3	4	4
小 計	14	15	14	13	14	14
3 市民(利用者)のサービスの向上						【配点15点】
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けている。(10 点)	10	10	10	10	10	10
(イ) 利用者の意見・苦情等に対応している。(5点)	5	5	4	4	5	4.6
小 計	15	15	14	14	15	14.6
4 施設固有の評価項目						【配点20点】
(ア) 利用者の育児不安を解消するため、相談業務や子育てに関 する情報発信を積極的に行っている。(10点)	8	10	8	6	8	8
(イ) 市内各子育て支援関係機関や地域の子育て支援従事者との 連携を図った施設運営を行っている。(10点)	10	10	10	10	8	9.6
小 計	18	20	18	16	16	17.6
合 計	95	100	87	89	95	93.2

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・事業・イベントは工夫したが、周知はどうだったか。
- ・地域や学校等の連携を積極的に行っている。
- ・臨床発達心理士を活用する等、独自の工夫による事業を展開したことは評価できる。
- ・NPOの活動経歴等を活かした連携、運営により満足度の高い状況につながっていると思われる。
- ・利用者目線にたち、相談の受付、分析、対応がしっかりできている。

【B評価委員】

- ・城東保健福祉センターとの連携により、妊娠期からの支援にも積極的に取り組んでいることや、臨床発達心理士の配置により、発達が気になる子等の多様な相談に対応していることは評価が高い。
- ・0才児の利用が増えたことから、0才児の母親とマタニティ期の母親が参加する事業を展開するなど、利用者ニーズに対応している。
- ・満足度調査結果について丁寧に分析し、質の向上に努めようとする姿勢が見受けられる。

【C評価委員】

- ・手厚い相談体制を構築している点を評価する。
- ・心理士の配置や保健センターとの連携など、妊娠期からの支援に取り組んでいる点を評価する。
- ・ツイッターなどのSNSの利用についての活用にも取り組んでいただきたい。

【D評価委員】

- ・適正な能力を持った職員の配置に共感できた。
- ・子育て支援団体連絡会員との連携など評価できた。
- ・現場の声を拾い上げる仕組みができているように感じた。
- ・支援団体のみならず、専門機関との連携など評価できた。

【E評価委員】

- ・コロナ禍でも工夫して運営していることがうかがえる。
- ・様々な手段を使っての情報発信（SNS等）に期待する。
- ・市内の子育て支援センターの中でも駐車場が広くあることもあり、遠方からの利用割合が多いのではと思われる。コロナ禍の人数制限のある中、足を運んだが入れないことなどを極力減らしていくためにも、SNS等を利用してのリアルタイム情報発信などを期待する。

#### 評価委員会としての意見

全体的に概ね良好な施設運営がなされている。特に臨床発達心理士等の心理職を配置していることについて、他の子育て支援センターにはない独自の配置により相談業務を充実させており高く評価できる。

事業内容等の情報発信については、現代の子育て世代に合わせ、SNSの活用等工夫して取り組む必要があると考える。

隣接する城東保健福祉センターをはじめ、地域の子育て支援施設等との連携がよく取れている。また、利用者アンケートによる満足度も常に高い数値となっていることから、今後においても更なる向上を期待する。